

プラットフォーム

エンジンやサスペンションといったパーツとは異なり、「土台」であるプラットフォームは文字通りクルマの「骨格」であり、「チューニングして性能を向上させる」ことは困難です。

そこで、New シビック TYPE Rではシビックのプラットフォームの開発を行う段階から「TYPE R」の目指す走りを実現しうるディメンションやボディー性能を想定。

コーナリング時の荷重移動を穏やかにし、タイヤの性能を活かしきることのできるワイドトレッド、直進安定性に寄与するロングホイールベース、空気抵抗を抑えられる低く構えたプロポーション——。

クルマとしての基本性能を妥協無く追い求めることで、

走りのパフォーマンスを大幅に高めることが可能となりました。

